



# よく見る、よく読め、よく考える



# 明快新聞



令和六年 三月八日発行  
明快志塾 編集局

この言葉は、荻窪で教室を開いてからずっと生徒たちに言い続けていることです。この3つを確実に実践できるようになるのにどれだけ時間がかかることでしょうか。下手をしようと、何年かかっても実践できないままのこともあります。答え合わせの時に、どうしてそういう答えになるかを確認しますが、多くの生徒が答えを写しただけだったり、答えを見ながら問題に取り組んでいるので、やったことが殆ど身についていないのです。例えば英語の教科書の和訳を宿題で課した場合に、辞書でとある単語を調べていたりすると、ほぼ同じ英文に出くわすことがあります。そんな時、英語が苦手な生徒は「ラッキー」と思って、その日本語訳を丸写しにしてしまうので、「考える」という作業がおざなりになってしまいます。また社会に関しても、教科書で調べながら問題に取り組むように指示すると、教科書の太字の部分しか見ていない生徒が多く、そういう生徒に限って「先生、調べたんで

すが教科書には載っていませんでした」と言ってくるのです。確かに、教科書をじっくり読むという作業は面倒くさいし、読んでも面白くない、読んでも感じませんが、勉強や何かを真面目に取り組むときには、ある程度腹を括って(諦めて)「根気よく見て、読んで、考え」ということが非常に重要だと思えます。

## 合格発表

合格発表の日は何年たっても、怖いという不安です。ただ、今年の自己採点でこれまでとは違ったこととしては、全員本来の力通りの結果を出したのではないかと、ということ。例年、何名かは「何でこんなミスをした」とか、「何でこれが分からなかったのか」というようなことがあったのですが、今年も生徒たちは、過去問演習で出せていた結果通りの点数だったのではないかと、思えます。そういう中で感じたことが、「継続は力なり」ということです。

**生徒の珍言!?**  
先生「早く帰らないと夜遅いから…」  
生徒「そうですね。」  
先生「されないけど…」  
先生「報道されちゃいますもんね。」

エリナというスポーツ大好き娘がいた。性格的には竹を割ったようなヤツで、みんなから好かれるし、場を仕切りたがるタイプの子だった。2年生の終わりに入塾してきて、あっという間に教室の雰囲気になじんでしまった。そのエリナの3年1学期の定期試験の時だった。社会の試験対策で第二次世界大戦のところを教えていた時に、「ヒトラーの覚え方は、「ユダヤ人をヒットラエろー!」とか、アメリカの政策は常に新しい「New」でいる」政策で、それを大統領も実行した結果、大統領のベルトが緩んでルーズベルトになった。というように、若干面白おかしく教えていたのだが、次の授業で確認したところ、エリナはそれぞれ「ユダヤ

人をトツツカまえろで『トツツカー』とか、ベルトが緩んで『ダブダブベルト大統領』などと、訳の分からない言葉に変換されていた(泣)。

そんなヤツだったが、高校にも無事に合格して、大学は体育系のところに進学し、結婚もしているらしい。そんなエリナがいる家庭はきつと笑いが絶えないに違いない。

**CRAFT BEER & CURRY**

お絵かきをTシャツにできます!  
画伯の新作お待ちしてます

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北4丁目2-24  
電話 080-5913-8241  
https://www.facebook.com/andbeerkoenji

モウの希少部位がオススメ!是非堪能ください

中野店 TEL: 03-3388-1728  
〒164-0001 中野区中野5-55-15 17時~22時30分 日曜・祝日休  
荻窪本店 TEL: 03-3392-5870  
〒167-0043 杉並区上荻1-4-3 17時~23時 日曜・祝日休

**焼き鳥の名門 秋吉**

オススメは「純けい!」! しっかりとした鳥の旨味が溢れます!

ご予約お待ちしております! /  
秋吉 中野店 TEL: 03-3385-0071  
〒164-0001 東京都中野区中野5-54-3 藤田ビル1F